



令和3年度文化芸術による子供育成総合事業－巡回公演事業－

ワークショップ実施計画書

| | |
|-------|---------------|
| 制作団体名 | 有限会社 ショーマンシップ |
| 公演団体名 | 劇団ショーマンシップ |

| 内容 | |
|---|---|
| <p>① 心と身体の準備体操 コミュニケーションゲームを行い、児童・生徒の心と身体の緊張をほぐす。 羞恥心が和らぐことで、表情が豊かになり、新しい自分の発見に繋がる。</p> <p>② 作品紹介 脚本・演出家の市岡により、写真やパネル、プロジェクターを使って作品の時代背景などを、わかり易く説明。</p> <p>③ 参加シーンの稽古 カジモドを応援する歌【勇気！自信！】とフィナーレで歌われる【ノートルダム】を出演俳優の指導のもと、全児童・生徒で合唱。 ※ワークショップ後も昼休みの校内放送や音楽の時間などでの練習を学校側に依頼。 （事前に学校側へ、CD・楽譜・歌詞カードをお渡しします。） ※歌うのが厳しい学校では、曲に合わせた振付の指導を行う。</p> <p>④ 芸にチャレンジ 劇中に演じられるパントマイムを指導。実際に体験してもらう。</p> |   |

| タイムスケジュール（標準） | | | | |
|---|------|-----|----------|---------|
| 10分 | 20分 | 10分 | 20分 | 30分 |
| 心と身体の準備体操 | 作品紹介 | 休憩 | 参加シーンの稽古 | 芸にチャレンジ |
| ※ あくまで一例です。 学校毎にタイムスケジュールを作成。（各学校に適したタイムスケジュールにて実施。） | | | | |

| |
|----------------------|
| 派遣者数 |
| I. 5名（主指導：1名 補助者：4名） |

| |
|--|
| 学校における事前指導 |
| ワークショップは、それぞれの学校の教育方針に即したものとするため、担当の先生とワークショッププランナーが協議の上、児童・生徒さんに適した内容を実践。 また、参加意識を高める上でも、使用する合唱用のCDを事前に渡しておき、ワークショップ前までに児童・生徒さんに聴いてもらっておく。 |

令和3年度文化芸術による子供育成総合事業－巡回公演事業－

本公演実施計画書

| | |
|-------|---------------|
| 制作団体名 | 有限会社 ショーマンシップ |
| 公演団体名 | 劇団ショーマンシップ |

| |
|-----------|
| 演目 |
| ノートルダム物語 |

| |
|----------------------|
| 派遣者数 |
| 21名（キャスト16名 スタッフ：5名） |

| | | | | | |
|-----------------------------|-------|-----------|------------|-------|-------|
| タイムスケジュール（標準） | | | | | |
| 【午後公演 13：30開演の場合】 | | | | | |
| 9：00 | 11：30 | 12：30 | 13：30 | 15：20 | 16：50 |
| 搬入・仕込 | 参加稽古 | スタン バイ | 本番・カーテンコール | 会場撤去 | 退館 |
| ※ 学校の状況に合わせて、途中休憩（10分）をはさむ。 | | | | | |

実施校への協力依頼人員

0名

(舞台上で背児童生徒さんが参加される場合は、1名～8名(児童生徒さん))

演目解説

(あらすじ)

その容姿の醜さゆえ「カジモド(神のいたずら)」と名付けられた、ノートルダム大聖堂の鐘撞き男。彼はある時、ジプシーの踊り子エスメラルダに出逢い、恋心を抱く。そんな折、カジモドの育ての親である将官ジェハンが「町の治安を脅かすジプシーたちを全て捕らえてしまえ！」と部隊長フィーバスに命じるのだった。悩むカジモド。なぜなら彼もジプシーの血を引いていたのだった。兵士達から追われ、ノートルダム大聖堂に逃げ込んだエスメラルダを助け、匿うカジモド。ついにカジモドは、ジプシーたちとともにジェハンに立ち向かうことを決意する。その時、彼の出生の秘密が明かされる。そして、奇跡が起こる！

(みどころ)

2005年より15年間、多くの子供たちに感動を生んだ本作。2017年にキャリア・スキルの高いスタッフのプランと指導の下、リニューアル。より芸術性の高い作品となる。また、児童・生徒が興味を持って鑑賞できるよう、耳に残るオリジナルの楽曲を修練を重ねた俳優たちが歌い、踊る、熱い作品である。劇中のジプシーのシーンでは、専門性の高い大道芸を披露する。ヴィクトル・ユゴーの原作「ノートルダム・ド・パリ」の不条理さをしっかりと子供たちに伝え、その上で「生きる希望の物語」「小さな勇気が自分を変える物語」に脚色。体育館が劇場になる本格的な舞台装置、時代背景を踏まえた衣装・小道具と視覚的にも優れ、調和の取れた総合芸術作品である。

児童生徒の公演への参加方法、公演に参加させるための工夫

○歌で主人公を応援

主人公カジモドが困難に直面したシーンで、乗り越えなければいけない「心の壁」を児童生徒全員の歌で応援。(歌「勇気!自信!」)
※歌うのが難しい場合は、手拍子をするなど、声を出さなくてよい参加で対応。

○出演者との共演

ワークショップと当日のリハーサルを経て、俳優と同じように衣装・メイクをして本番に出演。出演者は1名から8名。「パリの人々」「兵士」役などで出演。

○全員での大合唱

物語のハッピーエンドを出演者、生徒、先生、全員の歌で讃える。ワークショップで歌唱指導を行い本番はフィナーレで大合唱。(歌「ノートルダム」)

児童生徒とのふれあい

○公演終了後、座談会を実施。

出演者の司会進行により、希望者のみ、あるいは全児童生徒にて実施。

芝居の内容・演技・舞台セット等ことから、観ている人に夢や希望を与える仕事の魅力について話すとともに、児童生徒さん自身が夢と希望を持って前に進んでいくことの大切さを伝えられるようにと考えております。

○一緒に歌う

カジモドを応援する劇中歌「勇気！自身！」フィナーレの楽曲「ノートルダム」を児童生徒さんと一緒に歌います。

ワークショップにて歌唱指導した後の上演までの期間も、音楽の時間などに歌ってもらうなどして、参加意識の向上を図ります。

※上記の内容が難しい場合、担当の先生と話し合い、別の演出で対応。

